

PRESS RELEASE

新国立劇場 2025/2026シーズン 演劇

スリー・キングダムス Three Kingdoms

イギリス演劇界の奇才 サイモン・スティーヴンスが描く、現代社会の闇を深くえぐるサスペンスを
演出・上村聡史×主演・伊礼彼方の初タッグで日本初演！



翻訳
小田島創志



演出
上村聡史



芸術監督
小川絵梨子

2025年12月2日(火)～14日(日)

新国立劇場 中劇場

【写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ】

新国立劇場 制作部演劇 広報担当 杉田亜樹

TEL: 03-5352-5738 FAX: 03-5352-5737

E-mail: sugita_a8863@nntt.jac.go.jp

〒151-0071 東京都渋谷区本町 1-1-1

 新国立劇場
NEW NATIONAL
THEATRE
TOKYO

作品について

猟奇殺人の裏に、私たちの知らない「世界」—— 刑事が追うのは国境を超える犯罪か、それとも内なる悪か。 現代社会を映す戦慄のサスペンス、日本初演！

『夜中に犬に起こった奇妙な事件』『FORTUNE』などで知られるイギリス演劇界の奇才 サイモン・スティーヴンスが描く、現代社会の闇を深くえぐる衝撃作『スリー・キングダムス Three Kingdoms』が、2025 年 12 月 2 日より、新国立劇場 中劇場にて日本初演を迎えます。

ロンドンのテムズ川で発見された女性の変死体。この殺人事件を追うイギリス人刑事、イグネイシアスは、捜査を進めるうちに、ヨーロッパ全土に広がる国際的な犯罪組織の存在にたどり着きます。ドイツ、そしてエストニアへと舞台を移し、事件の真相に迫る一方で、自身の過去の行いを突き付けられ、事態は思わぬ展開を見せていく…

この作品は、イギリス、ドイツ、エストニアの 3 カ国のクリエイターによる国際共同制作プロジェクトとして誕生。イギリスでの初演時は、俳優も 3 カ国から集結し、三言語（英語、ドイツ語、エストニア語）が入り混じり、登場人物同様に、観客をも混乱の渦へと引き込みました。

デイヴィッド・リンチ監督の映画『インランド・エンパイア』から影響を受けたという本作は、単なるミステリーの枠を超え、グローバリズムと資本主義がもたらす影、そして善と悪の曖昧さを問う、戦慄のサスペンスです。

今回、日本初演の演出を担当するのは、新国立劇場演劇芸術参与の上村聡史。上村は、過去に二回、サイモン・スティーヴンスの戯曲を手掛け、作品が投げかける同時代性に大いに共感しており、現代社会への鋭い眼差しを持って本作に挑みます。

物語の発端となる、猟奇的な殺人事件を捜査する、主人公のイギリス人刑事イグネイシアス役に伊礼彼方。新国立劇場主催公演には、2016 年上演の『あわれ彼女は娼婦』以来の出演となります。またその相棒の刑事、チャーリーには浅野雅博。事件を追っていく先で出会ったドイツ人刑事シュテッフェンに伊達 暁、イグネイシアスのパートナー、キャロラインには夏子。そして、観客と舞台をつなぐミステリアスな存在として音月 桂が出演。

他に佐藤祐基、豎山隼太、坂本慶介、森川由樹、鈴木勝大、八頭司悠友、近藤 隼の出演も決定しました。上村聡史と総勢 12 名のキャストが織りなす、この 3 カ国にまたがる壮大なサスペンスにどうぞご期待ください。

あらすじ

刑事のイグネイシアスは、テムズ川に浮かんだ変死体の捜査を開始する。捜査を進めるうちに、被害者はいかかわしいビデオに出演していたロシア語圏出身の女性であることが判明する。さらに、その犯行が、イツ・ア・ビューティフル・デイの名曲『ホワイト・バード』と同名の組織によるものであることを突きとめる。イグネイシアスは捜査のため、同僚のチャーリーとともに、ホワイト・バードが潜伏していると思われるドイツ、ハンブルクへと渡る。

ハンブルクで、現地の刑事シュテッフェンの協力のもと捜査を始める二人だったが、イグネイシアスがかつてドイツに留学していた頃の不幸事を調べ上げていたシュテッフェンにより、事態は思わぬ方向に進んでいくのであった。

スタッフプロフィール

【作】 サイモン・スティーヴンス Simon STEPHENS

1971 年、イギリス・マンチェスター出身。2005 年『On the Shore of the Wide World(広い世界のほとりに)』でオリヴィエ賞新作演劇賞受賞。以降『ハーバー・リーガン』『ポルノグラフィ』『Punk Rock』『Birdland』など多数。近年では、12 年に再度オリヴィエ賞を受賞した、マーク・ハドンの小説の舞台化『夜中に犬に起こった奇妙な事件』(15 年、トニー賞受賞)やチャーホフ『桜の園』『かもめ』、一人芝居に翻案した『ワーニャ』、プレヒト『三文オペラ』の脚色も手掛ける。15 年、二人芝居『ハイゼンベルク』はオフ・ブロードウェイで上演されロングランされた。他には『彼方からのうた』(共作)『FORTUNE』など。



【演出】 上村聡史 KAMIMURA Satoshi

1979 年、東京生まれ。フリーの演出家として活動。24 年 9 月より新国立劇場演劇芸術参与。09 年、文化庁新進芸術家海外留学制度において 1 年間イギリス・ドイツに留学。第 22 回・第 29 回読売演劇大賞最優秀演出家賞、第 17 回千田是也賞、第 56 回紀伊國屋演劇賞を受賞。近年の主な演出作品に、『みんな鳥になって』『夜は昼の母』『My Boy Jack』『野鴨-Vildanden-』『ガラスの動物園』『森 フォレ』『Oslo(オスロ)』など。新国立劇場では、『白衛軍 The White Guard』『デカローグ』『エンジェルス・イン・アメリカ』『斬られの仙太』『オレスティア』『城塞』『アルトナの幽閉者』を演出。



【翻訳】 小田島創志 ODASHIMA Soshi

1991 年生まれ。武蔵大学、共立女子大学ほか非常勤講師。演劇雑誌「悲劇喜劇」編集協力。専門はハロルド・ピンター、トム・ストッパードを中心とした現代イギリス演劇。これまでの翻訳作品に『ドクターズジレンマ』『BIRTHDAY』『ULSTER AMERICAN』『ブレイキング・ザ・コード』『ラビット・ホール』『聖なる炎』『管理人/THE CARETAKER』『HEISENBERG(ハイゼンベルク)』『ポルノグラフィ』『受取人不明 ADDRESS UNKNOWN』など。一川華との共訳作品に『ケイン&アベル』。ミュージカルの翻訳・訳詞作品に『A Year with Frog and Toad~がまくんとかえるくん』など。新国立劇場では、『白衛軍 The White Guard』『エンジェルス・イン・アメリカ』『アンチポデス』『タージマハルの衛兵』を翻訳。

出演者プロフィール



伊礼彼方 IREI Kanata ————— イグネシウス・ストーン 巡査部長

幼少期をアルゼンチンで過ごし、その後横浜へ。2006 年、『テニスの王子様』で舞台デビュー。08 年『エリザベート』ルドルフ皇太子役に抜擢され、以降、舞台を中心に、ミュージカル、ストレートプレイ、ラジオドラマ、コンサートなどジャンルや役柄を問わず幅広い表現力と歌唱力を武器に多方面で活動中。近年ではテレビにも活躍の場をのびし、『オールスター合唱バトル』やドラマでは連続テレビ小説『あんばん』『らんまん』などがある。

【主な舞台】『レ・ミゼラブル』『ムーラン・ルージュ! ザ・ミュージカル』『テラヤマキャバレー』『NOISES OFF』『キングアーサー』『フィスト・オブ・ノーススター~北斗の拳~』『ミス・サイゴン』『ブラッド・ブラザーズ』『ダム・ウェイター』など。新国立劇場では『あわれ彼女は娼婦』『テンペスト』に出演。

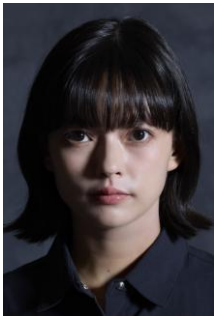


音月 桂 OTOZUKI Kei ————— シュテファニー・フリートマン 他

1998 年宝塚歌劇団に入団。2010 年、雪組トップスターに就任。華やかな容姿に加え、歌、ダンス、芝居と三拍子揃った実力派トップスターと称される。12 年『JIN—仁—/GOLD SPARK!』で惜しまれながら退団。現在はドラマ『モンスター』『ラブライブ! スクールアイドルミュージカル the DRAMA』『個人差あります』『科捜研の女』『砂の塔~知りすぎた隣人』、映画『劇場版 MOZU』などドラマ・映画・舞台各方面で活動続ける。

【主な舞台】『アメリカン・サイコ』『この世界の片隅に』『斑鳩の王子-戯史 聖徳太子伝-』『Greatest Dream』『ひげよ、さらば』『音楽劇 ある馬の物語』『陰陽師 生成り姫』『Super

Eccentric Girls』『華-HANA-』『ナイツ・テイル-騎士物語-』『フランケンシュタイン』『8月の家族たち』など。新国立劇場では『レオポルトシュタット』『オレスティア』に出演。



夏子 Natsuko ————— キャロライン・ストーン 他

2015 年、モデルとして活動を始め、2016 年に俳優デビュー。以降、舞台や映像作品など幅広く活躍。これまでの主な出演作に初主演映画『女囚霊』、映画『ザ・ゲスイドウズ』『岡本万太』『MY (K)NIGHT マイ・ナイト』、ドラマ『キャスター』『366 日』『時をかけるな、恋人たち』『親愛なる僕へ殺意をこめて』などがある。ドラマ『アイゾウ警視庁・心理分析捜査班』では地上波連続ドラマ初主演を務めた。

【主な舞台】『My BoyJack』『楽園はどこだ』『ヴィンセント・イン・ブリクストン』『赤鬼』『私たちは何も知らない』『BACKBEAT』などがある。新国立劇場では『デカローグ』B、『東京ゴッドファーザーズ』に出演。



伊達 暁 DATE Satoru ————— シュテッフェン・ドレスナー

1996 年、阿佐ヶ谷スパイダースの旗揚げに参加し、中心メンバーとして活動。これまでの出演に、ドラマ『JK と六法全書』、大河ドラマ『光る君へ』、「星新一の不思議な短編ドラマ『もてなし』『漂着者』『川のほとり』」、映画『牛首村』『罪の声』『閉鎖病棟』などがある。

【主な舞台】『みんな鳥になって』『品川猿の告白 Confessions of a Shinagawa Monkey』『不思議な国のエロス』『ジャイアンツ』『三人姉妹』『夜叉ヶ池』『幽霊はここにいる』『野鴨 -Vildanden-』『老いと建築』『両国花錦闘士』、『音楽劇 銀河鉄道の夜 2020』、『人間合格』『桜姫～燃焦旋律隊殺つ焼跡』『セールスマンの死』『髑髏城の七人～season 月<下弦の月>』など。新国立劇場では『デカローグ』E、『アンチポデス』『斬られの仙太』『骨と十字架』に出演。



浅野雅博 ASANO Masahiro ————— チャーリー・リー警部

文学座所属。劇団公演のみならず、数多くの演出家の作品に出演。映像、ナレーション、CM など幅広く活動。自身のプロデュースによる演劇ユニット「イマシバシノアヤウサ」では、『モジョミキボー』『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』『アイランド』をロングラン上演。また 2021 年、劇団「ヒトハダ」の旗揚げに参加し、『僕は歌う、青空とコーラと君のために』を上演。2024 年『オセロー』『旅芸人の記録』で第 32 回読売演劇大賞優秀男優賞を受賞。

【主な舞台】『ミュージカル梨泰院クラス』『嵐 THE TEMPEST』『オイディプス王』『ロスメルスホルム』『洪水の前』『マニラ瑞穂記』『音楽劇母さん』『検察側の証人』『ピサロ』『機械と音楽』『ペーテル・ギェント』など。新国立劇場では『エンジェルス・イン・アメリカ』『リチャード二世』『スカイライト』『ヘンリー五世』『赤道の下のマクベス』『あわれ彼女は娼婦』『るつぽ』『ヘンリー六世』『鳥瞰図』『浮標』『夜明け前』に出演。



公演概要

『スリー・キングダムス Three Kingdoms』

【作】サイモン・ステューヴンス

【翻訳】小田島創志

【演出】上村聡史

【美術】杉浦 充

【照明】佐藤 啓

【音楽】国広和毅

【音響】加藤 温

【衣裳】前田文子

【ヘアメイク】鎌田直樹

【振付】山田うん

【演出助手】神野真理亜

【舞台監督】棚瀬 巧

【芸術監督】小川絵梨子

【主催】新国立劇場

【キャスト】

伊礼彼方、音月 桂、夏子

佐藤祐基、堅山隼太、坂本慶介、森川由樹、鈴木勝大、八頭司悠友、近藤 隼

伊達 暁、浅野雅博

【公演日程／会場】

2025年12月2日(火)～14日(日) 新国立劇場 中劇場

【料金(税込)】

S席 8,800円／A席 6,600円／B席 3,300円／Z席(当日)1,650円

【一般発売】

2025年10月12日(日)10:00～

【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <https://nntt.pia.jp/>

* **Z席1,650円** Z席は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。
先着販売後、残席がある場合は、公演当日朝11:00からボックスオフィス窓口でも販売いたします。※電話予約不可。

* **当日学生割引** 公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約可。

* **各種割引** 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障がい者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(小中学生20%)、アトレ会員割引(5～10%)など各種の割引サービスをご用意しています。

【新国立シアタートーク】

日時:12月10日(水)終演後

会場:新国立劇場 中劇場

出演:上村聡史、伊礼彼方、音月 桂、夏子

司会:中井美穂

入場方法:本公演チケット(いずれの日程でも可)をご提示ください。

目や耳に障がいのあるお客様への観劇サポート

本公演では視覚・聴覚に障がいのあるお客さまへ、観劇サポートをご提供いたします。

※サポートは無料。要予約、定員あり。

2025 年 10 月 12 日(日)より予約開始

目に障がいのあるお客様への 開演前舞台説明会 & リアルタイム音声ガイド	① 12 月 11 日(木)14:00 開演
	② 12 月 13 日(土)13:00 開演
耳に障がいのあるお客様への ポータブル字幕機の貸し出し	① 12 月 11 日(木)14:00 開演
	② 12 月 13 日(土)13:00 開演



劇場前の表示



受付には、手話通訳者と要約筆者も



開演前舞台説明会の様子



舞台模型に触って、形状を体感している様子